

11月11日～12月12日
電池月間



でんち

社団法人 電池工業会

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8
機械振興会館内

電話 (03) 3434-0261 (代)

E-mail: bajapan@hi-ho.ne.jp

ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

振替口座 東京8-91022

発行人 木村侃丘

定価1部郵送による年決め2,400円

平成14年5月1日

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

平成14年度 第1回一次電池部会開催

平成14年4月12日、機械振興会館において白石部会長（松下電池工業(株)）を議長に、平成14年度第1回一次電池部会（出席者23名）が開催された。

今回は期首ということもあり委員の交代が多く、白石部会長、岩田委員（青木電器工業）、滝口委員（SHIマイクロパーツ）から委員交代の挨拶があった。また後任の部会長として河瀬部会長（松下電池工業）が承認され挨拶があった。さらに事務局より「(株)ユアサコーポレーションと三興金属工業(株)」の2社が一次電池部会を退会されたとの報告があった。

議題は平成13年の統計数字、海外関係の報告、ニッケル系一次電池に関する報告、平成13年度活動報告並びに平成14年度事業計画と予算案について説明があり原案のとおり承認された。

.....

議題と報告、検討内容

1. 平成13年の実績報告

生産販売実績、輸入品の増加状況、一次電池の国内出荷（重量）とリサイクラーによる処理量、ボタン電池回収量、容器包装再資源化義務量などの統計が説明された。

2. 欧州電池業界の状況

1997年から検討されているEU電池指令の内容と産業界の対応状況について説明があった。特に電池の回収は自治体が負うものであり、必要な時のみ実施すべき。回収率75%は非現実的であるとの見解と理由が述べられた。

3. 日欧米専門家会議の公式見解

使用済み一次電池の取り扱いに関する日欧米専門家会議の公式見解書が発表され、その内容が報告された。特に①乾電池は普通のゴミとして安全に処分できる②水銀の添加は世界全ての地域で禁止すべき③回収は

自治体によって実施されるべき④リサイクルの決定は「環境保護上の利点、エネルギー消費量、コスト、方法に問題ないか」と対比して判断すべきである等の表明が目された。

4. 中国の最近の動向

電池の輸入関税率は10～19%で今後も10%以上の水準で推移する。欧米も2.5～4.7%であり日本の0%はやや無防備の感がある。中国の電池工業協会は業界の権益擁護と行政の力の活用を鮮明にうたっている。

5. 米国の電池誤飲事故対策

米国のリチウム電池誤飲事故対策への協力依頼の件、部会長より同社の現地会社では既に費用負担していること、今回協力の要望がきた背景などが説明され結論として、この案件は現地で処理する方がよく該当の会社が集まり回答内容を決めることになった。

6. ニッケル系一次電池の件

ニッケル系一次電池の名称と回収・リサイクルに関する考え方について、名称は色々な意見があるので時間をかけて検討することにする。回収・リサイクルに関する考え方は、環境負荷、法律、諸基準、化学物質使用量、経済的合理性などの視点から検討し、回収を行わないと言う委員会のまとめが報告された。

7. 平成13年度の各委員会活動報告と14年度活動の考え方並びに予算案が事務局より説明され承認された。



平成14年度 第1回広報委員会開催

全電池部会の広報活動を統合し新たに活動をスタート

昨年度の各部会で承認された全電池統合型の広報委員会の初会合が、4月18日機械振興会館において鹿乗委員長を議長に開催された。

冒頭に、鹿乗委員長から統合の主旨説明と挨拶があり、続いて事務局報告、各ワーキング・グループ主査からの平成14年度活動計画が報告された。



1. 事務局報告

- 1) 新広報委員会の登録委員名簿の配布
- 2) 平成14年度広報委員会活動計画案の説明
- 3) 平成14年度広報委員会予算案の説明
- 4) 2月度の電池生産輸出入荷実績と販売実績

2. 二次電池広報WG報告

- 1) 3月29日の二次電池部会において広報委員会の統合について部会承認を得た。
- 2) 新広報メンバーの紹介
- 3) 予算の確認
- 4) 早目のバッテリー交換PRキャンペーン活動、モーターショー等展示会出展の計画と、販売促進、液面点検による破裂防止PR計画の説明

3. 一次・小形二次電池広報WG報告

- 1) 「電池の日」のポスターを本年度から「電池月間」とし二次電池も対象に入れた内容の検討を開始する
- 2) 「手作り乾電池教室」13館、地方テレビパブ6局を計画し電池の正しい上手な使い方等のPRを図る
- 3) 今年度で15周年となる中央共同募金会への電池寄贈について継続で計画

4. バッテリー賞WG報告

- 1) 12月5日開催予定で準備活動開始する
- 2) チラシの内容検討

5. でんちフェスタWG報告

- 1) 「電池月間」のオープニングセレモニーとして本年度も11月9日に盛大なフェスタ型イベントを計画、全電池の正しい使い方等PRする
- 2) プレスリリースを発行し関連マスコミにPRする
- 3) 会員会社、関連会社の参加、協力要請する

6. 情報発信WG報告

- 1) リサイクル、安全、電池の知識等をPRすることを目的に展示会へ参加する
- 2) 印刷物・パネルの作成表示基準、管理等のルール化を図る
- 3) ホームページの充実化を図る

7. 記者懇談会WG報告

7月2日開催予定で計画

8. 会報誌「でんち」WG報告

将来、経費削減と情報の早期伝達を目的に会報誌をホームページ又はEメール配信に置き換えることも検討する

9. 再資源化推進センター報告

センター独自の広報活動が主となるが、展示会やPRツール等で共用できる事項は、相互協力関係で推進する

小形二次電池再資源化推進センター便り

小形二次電池の回収状況(平成13年度集計)

	ニカド電池	ニッケル水素	リチウムイオン	小形シール鉛
本年度回収目標量	700t	100t	300t	30t
3月度単月実績	109.7t	4.2t	20.2t	1.5t
4～3月累計実績	628.2t	44.5t	332.8t	27.0t
前年同期比(累計)	105%	84%	116%	95%
目標量進捗率	90%	44%	111%	90%

ホームページ：<http://www.jbrc.com>

経済産業省からのお願い事項

統計調査にご協力ください

◆「平成14年経済産業省企業活動基本調査」

- 平成14年6月1日現在で、指定統計第118号として9回目の調査を行います。
- 調査は、別表に属する事業所を有する従業者50人以上かつ資本金3,000万円以上の会社（合名会社、合資会社、株式会社及び有限会社）について行います。
- 会社単位の調査で、会社全体の数値を御報告いただきます。
- 調査は、郵送で行います。
- 調査票等の調査関係書類は経済産業局を経由し、本年5月下旬までに郵送します。
- 調査結果は、平成15年3月末に速報の公表を予定しており、御協力いただいた会社に当省で作成した統計情報を還元いたします。
- ★調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密を厳守いたしますので、調査に対する御協力をお願いいたします。

(別表)

鉱業、製造業、電気業、ガス業、ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業、インターネット付随サービス業、映画・ビデオ製作業、テレビ番組制作業、新聞業、出版業、卸売業、小売業、クレジットカード業、割賦金融業、一般飲食店、外国語会話教授業、フィットネスクラブ、カルチャー教室（総合的なもの）、エンジニアリング業、葬儀業、結婚式場業、写真現像・焼付業、ゴルフ場、遊園地、テーマパーク、機械修理業、電気機械器具修理業、物品賃貸業（レンタル業を除く）、広告代理業

平成14年度 行事予定

行 事	日 程	場 所
NEW環境展東京会場出展	5月28日～31日	東京ビッグサイト
記者懇談会	7月2日	機械振興会館 6F 会議室
アジア防災展出展	7月24日～25日	京都国際会議ホール
NEW環境展大阪会場出展	9月4日～7日	インテックス大阪
正賛合同会議	9月13日	浜松グランドホテル
CEATEC 出展	10月1日～5日予定	千葉幕張メッセ予定
東京モーターショー出展	10月29日～11月3日予定	千葉幕張メッセ予定
でんちフェスタ	11月9日	池袋サンシャインシティ
ウエステック出展	11月26日～29日	千葉幕張メッセ予定
プロ野球最優秀バッテリー賞	12月5日	東京プリンスホテル
理事会	2003年1月10日	東京プリンスホテル
賀詞交歓会	2003年1月10日	東京プリンスホテル

業界動向

***NEC、松下電器産業&松下通信工業** 第三世代(3G)携帯電話の協業の初成果として、CPUを主としたプラットフォームの設計が完了した事、これを用いた携帯電話を今年後半に出荷予定である事を各々発表。
(3月1日付 化学工業日報)

***NECTーキン** 充電可能な二次電池の生産を中国(福建省)で開始へ。尚NECTーキンは、NECのコンデンサー、電池、リレー素子の3事業を分離し系列電子部品メーカーのトーキンと統合して4月1日に発足する新会社。
(3月1日付 日経産業)

***三菱電機** 欧州での携帯電話の生産を2002年12月までに停止、欧州向けの生産は三菱数源移動通信設備有限公司(中国)に移管する。(3月1日付 日刊工業)

***電子情報技術産業協会(JEITA)** 2002年1月の民生用電子機器の国内出荷額は、前年同月比6.5%減の1171億円になった。(3月1日付 日経産業)

***オリンパス工業** イーストマン・コダック、富士写真フイルム、松下電器産業と共同で一眼鏡式のデジタルカメラの規格統一に乗り出す。(3月1日付 日経)

***ホンダ** 新開発の燃料電池車が国土交通省の大臣認定を取得、公道での走行実験を開始した。
(3月4日付 日経産業)

***三井金属&住友金属鉱山** 亜鉛精錬品の品種別統合に向けた検討作業を開始。両社の亜鉛事業統合に向けた具体的な協力の第二弾になる。
(3月4日付 日刊工業)

***新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)** クリーンエネルギーシステムの技術開発の中核となる水素ステーションを2箇所立ち上げた。
(3月4日付 日刊工業)

***カシオ計算機** 携帯情報端末向けに小型燃料電池を開発、2004年には実用化を予定している。現在主流の充電式二次電池に比べ、同一体積での比較では寿命は4倍に。(3月5日付 日経)

***電池工業会** 2001年の一次電池の輸出が前年比9.2%減の19億7500万個に、また輸入は逆に8.2%増の4億4000万個になった事を発表。
(3月6日付 化学工業日報)

***東芝** 332万画素のCCDと光学3倍ズームを搭載した名刺サイズのデジタルカメラを開発、3月下旬から発売する。電源はリチウムイオン電池。
(3月6日付 電波)

***日立マクセル** 新市場開拓の一つとして、医療分野に絞り専用リチウムイオン電池の製品化を急ぐ。
(3月6日付 日刊工業)

***YUASA** ATM需要を狙い、産業用電源システム事業を強化する。
(3月6日付 日経産業)

***日本電産シバウラ** ブラシレスモーターを採用する事で長寿命化を実現したコードレス型インパクトドライバーを開発、8月から国内販売を開始する。
(3月7日付 日刊工業)

***リサーチ・イン・モーション(カナダ)** ポケットベルに携帯電話機能を加えた複合端末を開発、3月末を目処に北米で販売へ。(3月7日付 日経産業)

***日鉱金属** 環境リサイクル事業の拡大を狙い、4月1日付で産業廃棄物処理を行う新会社「日鉱環境」を設立する事を決めた。(3月8日付 化学工業日報)

***電池工業会・小形二次電池再資源化推進センター** 「21世紀 充電式電池どんどんリサイクルキャンペーン」は、前年比28%増の81トン回収した事を発表。
(3月9日付 電波)

***NTTドコモ** 携帯電話のリサイクル設計の徹底とリサイクルシステムの改善、デリバリーの効率化を推進する。
(3月11日付 化学工業日報)

***電子情報技術産業協会(JEITA)** 2001年の電子機器・部品の国内生産額は前年比16.4%減の21兆8779億円で、7年ぶりに22兆円割れになった。
(3月11日付 電波)

***ガートナー・データクエスト(米、調査会社)** 昨年の世界の携帯電話機の販売台数が、前年比3.2%減の3億9960万台になった。
(3月11日付 日経、電波&日刊工業)

***KDDI** 第三世代携帯電話サービスを4月1日から全国の主要都市で開始する旨を発表。(3月12日付 電波、日経産業&日刊工業)

***液体有機ハイドライド** 燃料電池用水素の貯蔵・輸送媒体としてこの物質が注目されている。この為45社が参加した研究会や実証試験が相次いで動き出した。(3月12日付 日刊工業)

***カシオ計算機** 大きさはクレジットカード並み、厚さ11mmと世界で最も薄いデジタルカメラを開発、本年6月を目処に発売する。(3月12日付 日経)

***ソニー** 世界最小・最軽量のノートPCを開発し早ければ今夏に発売する。サイズは奥行き約15センチ、横約20センチでOSにウィンドウズKPを搭載したモデルでは最も小さく軽い。
(3月12日付 日経)

***富士通** 2002年第2四半期から、日本、欧米でPDAを販売し当該事業に参入する。(3月13日付 日刊工業&日経産業)

***菊水電子工業** 小形二次電池の特性評価をトータルでサポートするバッテリー・テスト・システムを開発、今月から受注を開始した。(3月13日付 電波)

***NEC** コバルト系リチウムイオン電池の生産・販売に参入する。マンガン系とコバルト系の二系統のリチウムイオン電池を揃えたのは同社が初めて。
(3月14日付 化学工業日報)

***東芝&三菱電機** 第三世代携帯電話機を協同で開発すると発表、2004年春を目処に商品化を予定中。
(3月14日付 日経&日経産業)

***大日本インキ化学工業** 固体高分子型燃料電池の開発に参入し、2004年を目処に事業化を予定中。
(3月14日付 日経産業)

***ホップ・オン・コミュニケーションズ(米、ベンチャー)** 安くてシンプルな使い切り携帯電話を開発した。日本にも年内上陸が予定されている。
(3月15日付 日経産業)

***日立マクセル** 高橋取締役、電池事業の戦略として中国・無錫工場で世界市場を対象にしたアルカリ乾電池の増産を進めている事を語る。
(3月16日付 電波)

***田中化学研究所** ナノメッキ技術を用いて自動車用をターゲットに大容量大出力のニッケル水素電池用正極材料の開発に着手。
(3月20日付 化学工業日報)

***電子部品** 電子部品の受注が車載やゲーム機向けで好調、回復過程に入ってきた。景気の先行指標として注目され始めている。(3月20日付 日刊工業)

***政府** 技術開発の成果や創造物の権利保護を強化し、産業競争力を高める方策を官民をあげて練る「知的財産戦略会議」の初会合が3月21日に開催された。(3月21日付 日経)

***NTTドコモ** 声を出すことなく口を動かす(筋肉の動きを読み取る意味)だけで会話が可能な携帯電話を開発した。
(3月22日付 日経)

***コンパック(東京)** ブルートゥース搭載のPDAを3月下旬から発売する。充電電池の改善で14時間駆動が可能。
(3月22日付 日経)

***産業技術総合研究所&マツダ** 水素の貯蔵能力が3倍になるマグネシウム・チタン合金の精製に成功した。
(3月22日付 日経産業)

***フォード・モーター(米)** 燃料電池システムと充電電池でモーターを駆動させる新タイプのハイブリッド車を開発した。2004年までに商業生産を予定中。
(3月22日付 日経)

***特許国際出願** 知的所有権の次代への蓄積を目指し、韓国と中国の企業による特許の国際出願が急増中。
(3月22日付 日経)

***ブラザー工業** PDA用に小型プリンターを開発した、はがきとほぼ同じ大きさで厚さは17.5mm。(3月23日付 日経)

***行政改革推進本部(自民党)** 日本工業規格(JIS)認定の民間への開放を大筋で了承した。(3月23日付 日経)

***三洋電機** 同社がトップシェアを有する小形二次電池の新市場開拓の一環として、医療福祉分野等に展開できる民生用ロボットを開発し、2003年には市場投入する旨を発表。
(3月26日付 化学工業日報&日経産業)

***電力中央研究所** γ線で水を分解する事で高効率に水素を製造する技術を開発した。2010年には実用化へ。
(3月26日付 日刊工業)

***松下電器産業** 掃除ロボットの自律制御システムを開発、5月から実証実験を開始する。
(3月26日付 電波&日経産業)

***富士キメラ総研** 第三世代の携帯電話は2005年に世界で5000万台に拡大する旨を発表。(3月27日付 日経)

***電池工業会** 2001年の国内における二次電池の生産量は、16億5000万個で前年比約24%減少した事を発表。生産量の前年割れは5年ぶり。
(3月27日付 日経産業)

***松下電池工業** 屋外で人工的に再現したホテルの光を楽しめるガーデニングイルミネーションライトを開発、4月20日から発売へ。電源は単一形乾電池4本。
(3月27日付 電波)

***日本電池** 中国・無錫市にフォークリフト用電池を生産する全額出資の子会社を設立した。(3月27日付 日経産業)

***三洋電機** リチウムイオン電池の世界市場におけるシェアアップに注力。2001年に約30%(同社推計)のシェアを02年は、数ポイントのアップを目指す。
(3月27日付 日刊工業)

***独立行政法人物質・材料研究機構** 無機固体電解質を用いた全固体型リチウムイオン二次電池を開発した。材料は全てを不燃化している。
(3月29日付 日経、日刊工業、日経産業&化学工業日報)

平成14年 4月度の電池工業会活動概要

部会	4月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議	4日(木)	広報委員会バッテリー賞WG	*チラシ作成の基本内容の打合せ
	10日(水)	広報委員会情報・印刷WG	*印刷物・パネルのルール化見直しを討議
	10日(水)	家製協ハンドブック委員会	*ハンドブック作成決定事項の確認
	17日(水)	蓄電池設備認定幹事会	*平成14年度活動計画の確認
	17日(水)	バッテリー技術シンポジウム	*二次電池の市場動向・技術動向など
	18日(木)	広報委員会二次広報WG	*活動計画と予算の確認
	18日(木)	広報委員会	*広報活動の中味と年間スケジュールと担当会社の決定
	18日(木)	家電公取協・広告委員会	*商品広告内容の禁止事項等確認
	22日(月)	資源循環指標調査検討委員会	*資源循環指標(回収率、再資源化率など)のガイドライン作成
	26日(金)	広報委員会情報・印刷WG	*印刷物のサイズ、ロゴ、色、キャラクター、管理Noのルール化
二次電池部会	3～4日	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	4日(木)	自動車鉛分科会	*国際会議(ワシントン)出張報告。今年度活動内容と各社分担
	9日(火)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	9日(火)	小形鉛分科会	*国際会議(ドイツ)出張報告と今後の対応。SBA指針の改正方針
	11日(木)	据置アルカリ分科会	*H14年度作成の制定JIS案(シール形電池)。国際会議出張報告
	11～12日	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	12日(金)	用語分科会	*産電技術サービス(委)依頼の制定予定指針の様式チェック
	15日(月)	産業用電池小委員会	*産業用電池新リサイクルスキームについて
	15日(月)	(自)需要予測小委員会	*02～04年度需要予測作業
	16日(火)	電気車鉛分科会	*H14年度の具体的活動内容。H14年度改正のSBA指針の内容
	16～17日	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	17日(水)	据置鉛分科会	*H14年度改正のSBA指針の内容。他委員会からの依頼事項
	17日(水)	電気車用電池統計分科会	*1～3月の実績確認と検討
	17日(水)	電気車用電池リサイクル分科会	*電気車用電池リサイクルの暫定対応と今後について
	18日(木)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	18日(木)	自動車用電池技術サービス小委員会	*関連団体依頼の改正テキストの内容。電池工業会HP更新案
	22日(月)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	22日(月)	(自)市販小委員会	*自動車電池(二輪含む)の新リサイクルスキームについて
	24日(水)	資材小委員会	*共用金型、共通部品の検討
	24日(水)	産業用電池統計分科会	*1～3月の実績確認と検討
小形二次電池部会	24～25日	(自)リサイクル特別プロジェクト	*自動車電池(二輪含む)の新リサイクルスキーム検討
	26日(金)	二次電池リサイクル(委)拡大事務局	*産業用電池新リサイクルスキーム審議
	3日(水)	安全性ガイドライン策定WG	*PRBAフォーラム議事録内容確認、IEEE回答の確認
	10日(水)	リチウム二次分科会	*14年度活動計画の確認、IEC規格回答原案の審議
	15日(月)	小形シール鉛分科会	*回収率の算出、広域指定制度について
	15日(月)	ニカド・ニッケル水素分科会	*14年度活動計画の確認、IEC規格回答原案の審議
	15日(月)	アルカリ分科会	*平成14年度活動計画、回収電池の調査についてなど
	18日(木)	再資源化リチウムイオン分科会	*リチウムイオン電池の回収率の算出方法の検討
	22日(月)	安全性ガイドライン策定WG	*PRBA回答の確認、対PCメーカープレゼン資料の審議
	23日(火)	再資源化委員会	*回収率目標設定の取組み体制、識別表示ガイドの最終確認
一次電池部会	25日(木)	業務委員会	*平成14年3月度の出荷実績の検討、用途別出荷実績調査の件
	4日(木)	循環技術委員会	*住友金属鉱山(株)播磨事業所見学(乾式亜鉛製錬技術理解)
	4日(木)	業務委員会	*ニッケル系一次電池(仮)の和英文名称の統一等の検討
	5日(金)	循環技術委員会	*茨木市清掃環境衛生センター見学(熔融炉による廃棄物処理)
	5日(金)	循環技術委員会	*上記見学内容の検討、今後の調査検討予定の決定
	9日(火)	環境対応委員会	*ニッケル系一次電池使用後の管理について検討
	10日(水)	器具委員会	*規格の校正、各WGの年間計画の策定
	11日(木)	一次・小形二次広報ワーキング	*手作り乾電池教室、共同募金会への電池の寄付、啓蒙ポスター担当決定
	12日(金)	一次電池部会	*平成13年度活動実績、14年度活動計画と予算を承認
	12日(金)	でんちフェスタワーキング	*啓蒙内容の確定(御祭り形式で対応する)
	18日(木)	JIS小委員会	*JIS8501改正の基本骨子確認と作業分担決定
	18日(木)	IEC小委員会	*国際規格回答原案の審議(カメラ用リチウム、補聴器用空気電池等)
	23日(火)	一次電池技術委員会	*各委員会13年度活動報告と14年度活動計画の確認 一次電池系JIS体系の包括審議の為のWG設置の検討と承認
	26日(金)	PL委員会(臨時)	*安全性表示ガイドラインでのニッケル系一次電池の取り扱いについて協議

世界初 全国6種類のホタルの光を再現 ガーデニングイルミネーションライト「舞ホタル」を発売

松下電器産業(株)と松下電池工業(株)は、家の庭やマンションのベランダなどの屋外で人工的にホタルの光を楽しめるガーデニングイルミネーションライト「舞ホタル」を4月20日から発売します。

各地で開発が進み、自然環境が減少していくにつれ、ホタルが生息できる地域が少なくなりつつあります。実際にホタルを見られる地域も減る中で、より多くの方々にホタルの光の美しさを身近に感じ和んでいただくと同時に、環境保全の意識を持っていただけたらと開発し発売するものです。

本製品は、日本全国の6種類のホタルの発光パターンを選択・再現できる乾電池式のイルミネーションライトです。単一乾電池(パナソニックアルカリ)4本で連続約540時間の点灯が可能です。自動モード(光センサーでON、6時間タイマーでOFF)を設定すれば、約3ヶ月、毎晩ホタルの光を楽しめます。合計32個のLEDが、自宅の庭などでホタルが光舞い飛んでいるかのような癒しの雰囲気を漂わせます。

[特長]

1. 全国6種類のホタルの光を再現可能

ゲンジボタル(西日本型/東日本型)・ヘイケボタル(本州型/北海道型)、ヒメボタル(大型/小型)

2. 光センサーによる自動点灯モード(暗くなると自動で点灯します)

3. OFFタイマーで自動消灯(3時間/6時間の自動OFFの設定が可能)

4. 雨天でも庭に設置しておける防滴構造

5. ホタルの光源はLEDを使用しているので豆球に比べ長寿命

6. コンセントのない所でも使用可能な乾電池式

National Panasonic

「舞ホタル」で町をドレスアップ。ホタルが光る「町」募集中!

もう一度、ホタルが光る町にしたい。
ナショナルがお手伝いします。

ここを和ませる、やさしいホタルの光り。残念ながら、あの美しい光りが楽しめる場所は、ますます失われつつあります。ナショナルは、ホタルの光を再現するイルミネーションライト「舞ホタル」を開発しました。あの、やさしい光りを見ながら、少し遠慮について考えてみませんか?

＜商品特徴＞
庭やベランダをイルミネーションライトでドレスアップ

ホタルの光るのほはなせ?

ホタルの能力とその一生

よく知られているホタルは?

ホタルの生態によって、光りかたがどう違う?

写真：大橋 信雄

Pana Sense

「舞ホタル」はパナセンスでお買い求めいただけます。

BATTERY WORLD トップページへ

Copyright ©2002 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

サイトマップ
当ウェブサイトのご利用にあたって

●●●●● 新製品ニュース ●●●●●

オフィスに一台、早剃りのワイド刃 東芝シェーバー (乾電池式)

(株)東芝と東芝電池(株)は、急な出張やアフターファイブの身だしなみに便利で安心な乾電池式シェーバー、BATTERY-POWERED SHAVER (単三型乾電池二個使用)を発売しました。

[特長]

1. 早剃りのワイド刃…本格的なワイド刃で、素早く剃りあげる
2. 場所を選ばないコンパクトなサイズ…机の中に、車の中に、いつも貴方のそばに
3. 予備に最適な乾電池式…充電の心配なしの乾電池式だから予備には最適
4. 使用時間 (1日1回3分使用の場合)

東芝アルカリ乾電池LR6を使用の場合で約1.5ヶ月

東芝マンガン乾電池R6PU (UB) を使用の場合で約2週間



オフィスに一台、早剃りのワイド刃。

急な出張やアフターファイブの身だしなみに、これがあれば安心！

2月度電池および器具販売実績(機械統計)

(平成14年2月)

単位:数量=千個、金額=百万円(本年よりマンガン乾電池の単二がその他に含まれました)

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
電池・器具総合計	441,882	53,792	89%	91%	859,997	103,146	89%	88%
全電池合計	441,176	52,373	89%	91%	858,467	100,363	89%	88%
一次電池計	313,310	11,027	87%	86%	608,436	21,094	88%	89%
マンガン乾電池計	82,071	1,661	85%	85%	164,274	3,251	89%	87%
単一	8,973	464	84%	83%	18,500	939	88%	86%
単三	43,715	642	88%	85%	88,524	1,268	94%	89%
その他	29,383	555	81%	86%	57,250	1,044	83%	85%
アルカリ乾電池計	86,957	4,677	82%	79%	164,519	8,854	89%	86%
単三	53,977	2,471	75%	70%	100,610	4,610	81%	76%
単四	19,192	978	95%	88%	36,657	1,863	102%	97%
その他	13,788	1,228	101%	99%	27,252	2,381	105%	105%
酸化銀電池	67,505	769	101%	96%	137,694	1,583	94%	91%
リチウム電池	71,982	3,700	81%	93%	132,699	7,028	80%	93%
その他の乾電池	4,795	220	129%	129%	9,250	378	116%	116%
二次電池計	127,866	41,346	96%	92%	250,031	79,269	92%	88%
鉛電池計	3,388	12,184	88%	92%	6,664	23,340	87%	88%
自動車用	1,853	6,085	95%	91%	3,733	12,554	93%	86%
二輪用	394	761	89%	110%	756	1,463	91%	104%
小形シール	874	956	76%	81%	1,700	1,763	75%	76%
その他	267	4,382	95%	92%	475	7,560	94%	91%
アルカリ電池計	87,731	11,755	94%	103%	169,841	20,941	88%	91%
完全密閉式	37,473	4,318	86%	90%	72,831	8,354	84%	87%
ニッケル水素	50,236	6,949	101%	111%	96,972	11,789	91%	92%
その他のアルカリ電池	22	488	129%	119%	38	798	127%	115%
リチウムイオン電池	36,747	17,407	103%	86%	73,526	34,988	105%	86%
器具計	706	1,419	83%	99%	1,530	2,783	90%	95%
携帯電話	339	354	77%	72%	830	774	90%	76%
電池器具	367	1,065	89%	113%	700	2,009	89%	105%

2月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(平成14年2月)

単位:数量=千個、金額=百万円(少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

	単 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比	数 量	金 額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計(輸 出)	243,975	26,197	92%	92%	470,546	51,306	91%	91%
一次電池計	136,610	2,893	84%	87%	262,410	5,777	85%	88%
マンガン	48,025	382	90%	102%	88,458	713	93%	103%
アルカリ	13,287	232	55%	54%	28,004	510	64%	66%
酸化銀	29,282	374	109%	104%	59,260	761	97%	97%
リチウム	44,135	1,850	78%	87%	81,573	3,643	77%	89%
空気亜鉛	1,755	36	117%	123%	4,419	88	117%	141%
その他の一次	125	20	233%	108%	676	63	152%	50%
二次電池計	107,365	23,304	104%	92%	208,136	45,529	102%	92%
鉛蓄電池	386	793	66%	87%	762	1,413	73%	88%
ニカド	28,969	3,003	88%	97%	57,610	5,692	90%	95%
ニッケル鉄	3	3	45%	39%	3	4	2%	19%
ニッケル水素	36,672	3,554	100%	78%	72,836	7,030	93%	74%
リチウムイオン	29,163	13,672	111%	93%	56,102	27,115	116%	96%
その他の二次	12,172	2,278	190%	118%	20,803	4,276	160%	104%
全電池合計(輸 入)	40,387	3,247	124%	92%	78,379	7,593	101%	99%
一次電池計	37,319	958	132%	78%	72,482	2,175	109%	83%
マンガン	10,214	154	148%	129%	20,526	294	113%	103%
アルカリ	24,487	583	129%	137%	47,594	1,145	110%	125%
酸化銀	290	8	89%	95%	783	17	105%	96%
リチウム	727	71	57%	26%	1,510	195	66%	61%
空気亜鉛	647	24	110%	125%	998	37	104%	119%
その他の一次	954	118	638%	31%	1,071	487	122%	47%
二次電池計	3,069	2,290	72%	99%	5,897	5,418	53%	107%
鉛蓄電池	398	1,120	91%	100%	948	2,800	94%	106%
ニカド	847	348	79%	94%	2,236	775	89%	97%
ニッケル鉄	0	2	>>>	111%	3	5	>>>	113%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の二次	1,823	820	66%	99%	2,710	1,839	35%	113%